

早期英語学習経験と英語力および学習態度に関する研究

The Effects of Learning English at an Early Stage on Future English Ability and Attitude toward Learning English

池 中 雅 美

要 旨

早期英語学習に意欲的に関わり、楽しかったという経験をすると、現在の英語学習への態度も意欲的、積極的なものになるのではないかという視点より、本学学生1、2年生と本学同列の中学、高校の生徒にアンケートを実施し回答を得た。

その結果、現在の英語学習への興味に関しては、早期英語学習経験者とそうでない学習者との間に大きな差は見られなかったが、早期英語学習経験者からは年数を経るにしたがって、英語学習への関心が薄れていっていることがわかった。また、本学短期大学生のTOEICスコアから、早期英語学習経験者がそうでない学生より高いスコアを取得していることが明確になった。

今後の課題として、初期段階となる早期英語学習の充実と、次段階での継続した興味、関心、意欲を引き出せるような一貫したカリキュラムの検討が挙げられる。

1. はじめに

早期英語学習は、英語という言語を教科として学習する中学校以前に、英語活動として学習することを意味している。幼稚園、保育園、小学校あるいはその時期に塾や英会話学校といった場所で行われている英語学習の経験のことである。文部省の研究開発学校の指定を受け、英語活動、国際理解活動といった名称で、早期英語学習を実施してきた小学校が数多くある。

その中で、早期英語学習の有効性については多くの研究が発表されている。特に日本児童英語教育学会のプロジェクトチームによって追跡調査がなされており、樋口たち（1986～1989）によると早期英語学習が有効である点がいくつか挙げられている。まず、抵抗なく模倣できる時期が過ぎるまでに英語に触れていること、無意識に習得した運用に役立つ規則をより多く身につけていること、コミュニケーションに積極的、意欲的であることなどである。

筆者は幼稚園における英語活動にここ数年関わってきた。幼稚園での英語活動の目的は、大きくわけて2点ある。一つは英語に親しませること、英語ざらいをつくらないこと、2つ目は子どもたちの母語である日本語とは異なる言語を話す外国人と触れ合うことで、異文化の体験をさせ、様々な価値観があることに気づかせ、それに優劣をつけるのではなくありのままを受け入れるという姿勢を身につけさせるということである。この時期の英語学習経験を有効にするには、その英語活動がすすんで参加できるもの、子どもたちが楽しいと感じるものであるべきだと考える。早期に積極

的に英語活動を経験すること、理解できる、わかる活動を経験することが、中学校以降の英語学習への動機付けになると考える。

更に、早期に英語活動を経験することが、その後の英語力、特にリスニング力にも影響があるのではないかと考え、アンケート調査および短期大学で実施したTOEICスコアを利用し関係を明らかにする。

2. 先行研究

早期学習経験が外国語学習における態度と動機に及ぼす影響を、JASTEC言語習得プロジェクトチームが研究している(1994)。小学校で教科として英語学習を経験した学習者と中学校入学後に英語学習を始めた学習者を対象として調査を行っている。早期英語学習は、外国語学習に対する学習意欲を高め、また諸外国の人々の価値観を理解しよう、学ぼうという積極的な態度を育む上で大きな役割を果たしていると結論づけている。

態度や動機に及ぼす影響のほかに、発音に及ぼす影響に関して西尾(2000)が研究している。西尾は英語学習を小学校の1年生から3年生の間に開始すると、他の年齢で開始した子どもに比べ、音素の発音がより正確であるということが明確になったとしている。また、中・高における成績との関連を、恵、横川、三浦(1996)が調べている。中学2年生、3年生、高校1年生を対象としてリーディングとリスニングの技能についての調査を行い、リスニングの技能はいずれの学年においても早期英語学習経験者は優位であったという結果を得ている。また、リーディングに関しては、有意差はなかったと述べている。

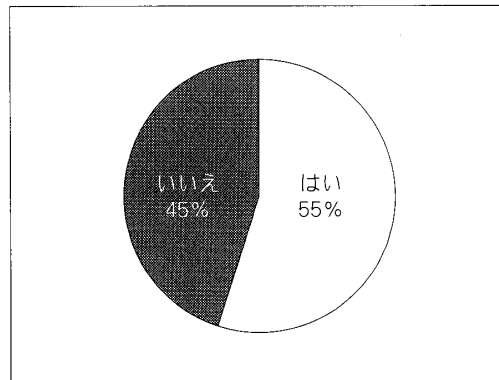
以上、様々な方向から、早期英語学習の影響に関する研究がなされており、有効とする結果が多く報告されている。渡部(2005)も、小学校から中学校への追跡調査を実施し、聞き取り能力が高い、聞こえたとおりにリピートする能力が高い、文字で書かれた英語を音にできる能力が高い、集中力が高い、学習に対する意欲、上手になろうとする意欲が高いという点を効果としてあげている。

一方、横山(1991)は、早期英語教育の時期と期間、英語を学んだ場所、そしてその内容についての調査を行い、その結果、中学校時代の成績に若干の違いがあったが、特に英語の実践的な使用とその態度にはほとんど差がみられなかったとしている。そして、英語学習はかなり集中的、継続的な学習を必要とし、指導法とカリキュラムが適切であるかどうかの問題ではないかと述べている。

本稿では、早期英語学習が積極的に参加できるもの、楽しい経験となったかどうか、中学校以降の英語学習を左右するのではないかという見地にたち、楽しい経験であったと回答した生徒、学生がどのような学習態度を現在持っているかを調査する。

3. 本学短期大学生のTOEICスコアと早期英語学習経験との関連

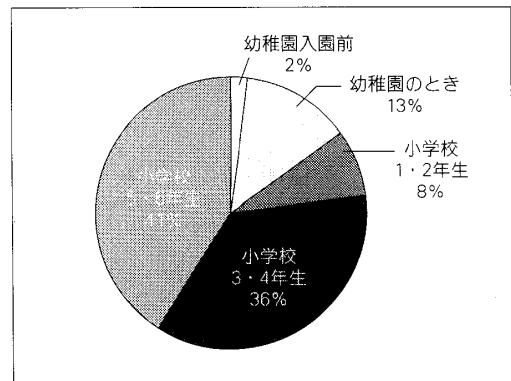
2006年12月に本学の学生を対象としたアンケートを実施した。1年生85名、2年生96名の合計181名である。早期英語学習を経験したという学生は、1年生の47名、2年生53名で半数を超えている。



3.1 早期英語学習を経験した時期に関して

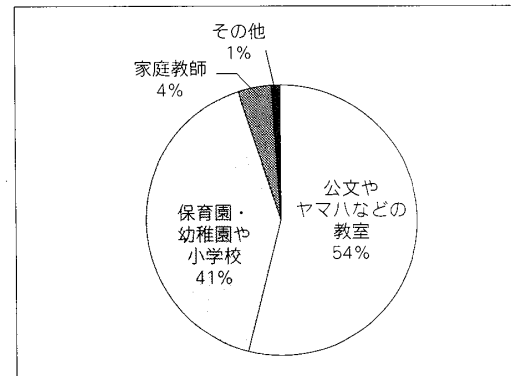
小学校5、6年が一番多く、次いで小学校3、4年が多い。3年から6年まで継続して学習をした学生は8名のみであった。ほかに1年から6年まで継続して学習したものが3名、1年から4年まで、幼稚園から2年までがそれぞれ1名ずついた。

TOEICスコアとの関連については後述する。



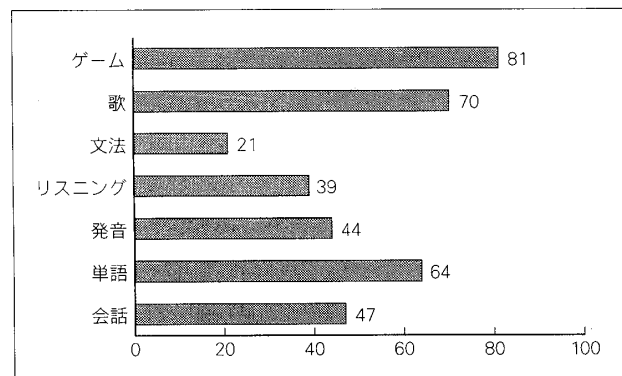
3.2 英語をどこで学習したか

公文やヤマハなどといった英会話教室、塾などの教室での英語学習経験者が多い。また、保育園、幼稚園や小学校における英語学習経験者も4割となっている。しかし、小学校時代に学校ではなく、塾などで英語学習を経験している学生が早期英語学習経験者の5割を超えている。小学校などでの英語学習に加えて塾などに通っていた学生は9名であった。



3.3 内容に関して

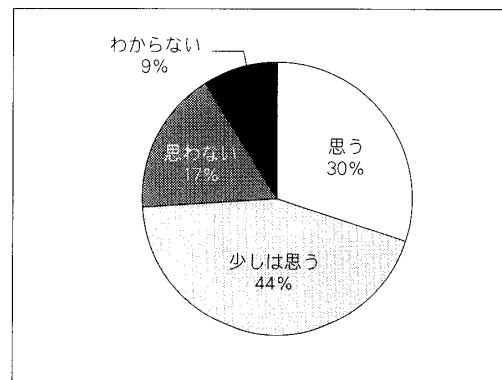
英語学習の内容では、様々な要素が含まれているが、ゲームや歌が多く取り入れられている。会話、リスニングといった面に重点が置かれていることがわかる。また、文法も学習内容に含まれているが、単語レベルでの英語学習が主のようである。実際にどのようなゲームや歌を学習したのか、会話はあいさつ程度のものなのか、もう少し高度なものを学習したのかはアンケートには含まれていない



ため、具体的な学習内容は把握できない。しかし、読んだり、書いたりする活動ではなく、聞いたり、話したりする活動を中心にゲームや歌などを通して学習してきたことがわかる。

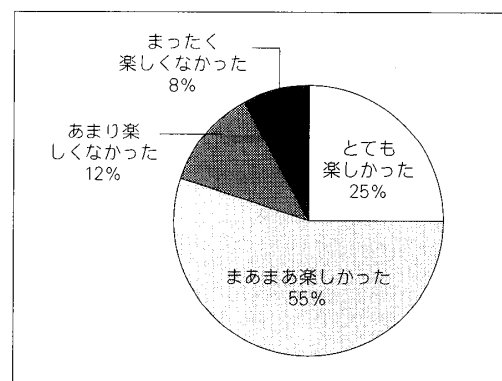
3.4 英語学習は役立ったか

中学校以前に英語をならったことによってそれ以降の勉強に役立ったと思うかという問いに対して、「思う」または「少し思う」という肯定的な意見が7割を超えている。肯定的に英語学習の効果をとらえているということは、その後の英語学習において、肯定的な姿勢をもって学習してきているのではないと思われる。



3.5 英語学習は楽しかったか

この問いには、やはり、「とても楽しかった」、「まあまあ楽しかった」という回答が8割であった。内容的にゲームや歌の占める割合が多い分、楽しかったという経験となっているようである。しかし、「あまり楽しくなかった」、「まったく楽しくなかった」という回答も2割ある。前述の質問（英語学習は役立ったか）への回答として、役立ったとは「思わない」と回答した学生のうち、「まったく楽しくなかった」、「あまり楽しくなかった」と答えているのは40%であった。その一方、「まあまあ楽しかった」、「とても楽しかった」と回答していたのも56%いた。このことから英語活動の楽しさと役立つという意識はあまりつながってはいないのではないかと考えられる。活動の内容、また指導者の問題も楽しさや役立つといったことへの要因と考えられるが、今回のアンケート調査からはあまり関連性がみられなかった。



3.6 TOEICスコアとの関連

早期英語学習を経験してきた学生とそうでない学生とのTOEICのスコアを比較し、英語力、特にリスニング力に影響があらわれていないかを調査した。

以下の表は、早期英語学習経験者とそうでない学生のTOEICのスコアの比較である。

それぞれの平均点において、早期英語学習経験者の平均点のほうが高い結果となっている。早期英語学習経験者はリーディング、リスニングの両方の平均点が未経験者より高い。さらに、リーディングのスコアよりリスニングのスコアの差が大きい。

早期英語学習経験者			早期英語学習経験なし		
トータルスコア	リスニング	リーディング	トータルスコア	リスニング	リーディング
312.0	199.5	112.6	272.6	169.1	103.5

4. 中学校・高等学校生徒の英語学習経験と英語学習に対する態度の関係

2006年12月に中学校、高等学校における生徒へのアンケートを実施した。成績に関しては調査をすることはできなかったため、英語学習に対する興味、態度に関してのアンケートとした。

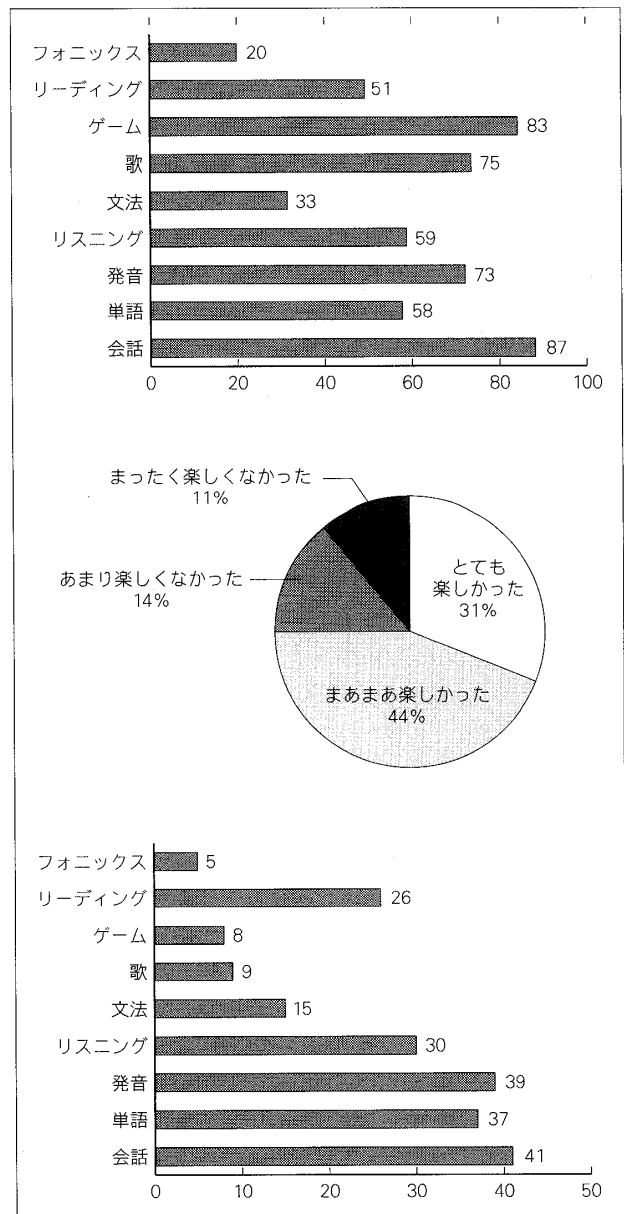
4.1 中学生1年生から3年生までのアンケート集計より

中学校1年から3年までの生徒109名のアンケートの集計を行った。早期英語学習経験者は97名、全体の89%になる。時期についても小学校の1年から6年までに経験している生徒が大半である。金沢市が英語教育の特区となった平成16年度から3年目で、中学1年生が小学校4年生のときから開始されているためであろう。しかし、幼稚園や学校での英語学習経験に加え、塾や英会話学校のような機関においての英語学習も同時に経験している生徒も3割いる。

内容に関しては会話、ゲーム、歌、発音、単語が取り上げられることが多いようである。リーディングやフォニックスといった、読みに関する活動も取り入れられていることは、単なる英語活動の域を超えるべく様々な試みがなされてきたのではないと思われる。

学習内容が会話、ゲーム、歌といった楽しい要素が含まれているため、英語学習の経験は楽しいものとして残っている。「とても楽しかった」、「まあまあ楽しかった」という回答は75%であった。現在の学校での英語学習についての質問にも同じような回答を得た。7割が現在楽しいと答え、3割が「いいえ」と回答している。この中学校の各学年に、普通クラスと特別進学クラスの2クラスがある。現在の英語学習が楽しくないと回答した生徒の中、特別進学クラスの生徒は非常に少ない割合となっている。わかる、理解できる、得意であるということが楽しさにつながっている証拠であろう。

中学校以前に英語学習をしたことが今の勉強に役立っているかという問いに対しては、7割を超える生徒が「役に立っている」と肯定的に考えている。また、「何が役に立っていると思うか」という質問については、会話、発音、単語、リスニング、リーディングという順で挙げられている。

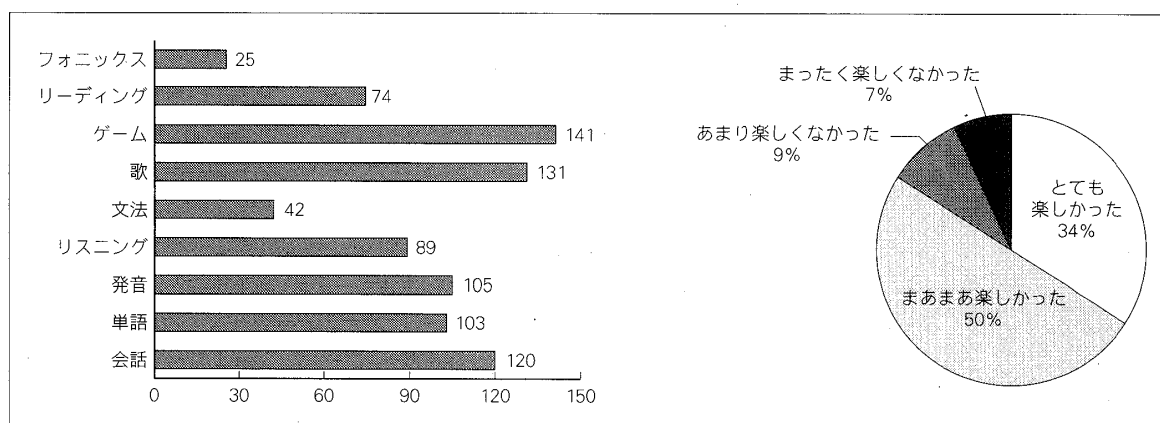


4.2 高校1年生から3年生までのアンケート集計より

高校1年生から3年生までの生徒246名のアンケート集計を行った。早期英語学習経験のある生徒は171名で全体の約70%である。早期英語学習の経験者は短期大学生の55%、高校生の70%、中学生の89%となっており、早期英語学習が徐々に浸透していていることがうかがえる。

早期英語学習を経験した時期は小学校5、6年生が一番多いが、3年から6年まで継続して学習した生徒は54名、全体の2割であった。早期英語学習の内容に関しては、ほとんど中学生と似通った結果となっている。早期英語学習が楽しかったかどうかであるが、こちらはほんのわずかであるが、楽しかったとする生徒が中学生よりも多くなっている。

しかし、現在の英語学習が楽しいかという質問に対しては、「楽しい」と答えた生徒の割合は1年生が37%、2年生24%、3年生は22%となっている。また、この高校は特別進学コース、英語コース、一般進学コースとコース分けがされているので、そのコース別で楽しいと回答した割合を比較すると以下のようなになった。



	1年生	2年生	3年生
一般	14%	25%	15%
英語	48%	44%	30%
特進	46%	10%	—

※ 3年生には特進コースが設置されていない

この中の何名ぐらいの生徒が、継続して学習した早期英語学習が楽しかったと答えているだろうか。また、現在の英語学習の楽しさへとつながっているのだろうか。

以下の表はそれぞれの学年、それぞれのコースごとに、早期英語学習が楽しかったかどうかと現在の英語学習が楽しいかどうかの関連性をみたものである。

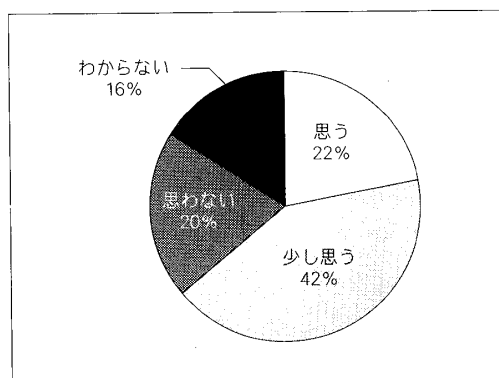
早期英語学習経験と英語力および学習態度に関する研究

	1 年 生			2 年 生			3 年 生	
	特進 13名	英語 21名	一般 50名	特進 10名	英語 36名	一般 56名	英語 27名	一般 33名
楽しかった・ 今も楽しい	5名	7名	5名	1名	13名	5名	1名	3名
楽しくなかった・ 今は楽しい	0名	1名	5名	3名	0名	0名	2名	0名
楽しかった・ 今は楽しくない	1名	7名	22名	6名	7名	12名	13名	14名

1年生の特進、英語コース（半数）、2年生の英語コースでは、早期英語学習が楽しかった、現在の学習も楽しいと回答している生徒数が、楽しかったが今は楽しくないという回答をした生徒数を上回った。楽しかったという英語学習の経験が、現在の学習へとつながっていると考えられる。

早期英語学習が役に立っているかどうかという質問に対しては、中学生に比べて「思う」、「少し思う」と回答している生徒数は減少している。英語学習の年数を経るにしたがって、早期英語学習の記憶もうすれ、本当に役に立っているかどうか実感として感じられず、また、学習がすすむにつれ理解できないことが多くなるとわからないと回答する生徒がいるのではないと思われる。

早期英語学習が役に立った、少しは役に立ったと考える生徒にとって、早期英語学習は楽しかったのであろうか。以下の表によると、やはり役に立つと考えている多くの生徒は早期英語学習が「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」と回答している。



	楽しかった	まあまあ 楽しかった	あまり楽しく なかった	まったく 楽しくなかった
役に立つと思う	22人	12人	3人	0人
少しは思う	27人	38人	2人	0人
思わない	4人	13人	9人	7人
わからない	4人	16人	2人	4人

5. 結 論

早期英語学習の経験が積極的に参加できた、楽しい経験であれば現在の英語学習への態度も肯定的となるであろうと考えた。また、英語力、特にリスニング力にも影響を与えるのではないかと考え、アンケート調査を行った。

今回の調査では、短期大学生と中学、高校生からのアンケートをもとに、早期英語学習の経験と

現在の英語学習への関心との関連を探ることを目的とし実施したが、短期大学生においてはあまり関連性が認められなかった。中学生においては、「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」と回答したのは早期英語学習経験者の75%であり、また今の勉強に役に立っていると回答したのも7割を超えた結果を得た。中学生までは早期英語学習に意欲的に関わられた、楽しかったという経験が、現在の英語学習に良い影響を与えているといえる。しかし、高校生においては、「役に立つと思う」と回答したほとんどが「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」と回答しているが、学年がすすむにつれ現在の英語学習が楽しいと回答した生徒が少なくなっている。以上から、早期英語学習を経験して、それほど年数を経っていない場合はより肯定的に早期英語学習経験を捉えており、年数を経るごとに早期英語学習の記憶は薄れ、現在の学習とのつながりが感じられなくなっているようである。高校、短期大学における生徒、学生にとっての早期英語学習と現在の英語学習との関連性は今回のアンケート調査では明確にならなかった。

中学、高校でのアンケートからは、学年がすすむにつれ、現在の英語学習への興味が薄れていることがうかがえた。早期英語学習の内容に関しても検討課題である。早期英語学習において経験してきた内容は会話、歌、ゲームが多いが、現在の英語学習において何が役立ったかという質問に対しては会話、発音、リーディングなどが挙げられている。

英語学習には長期的、継続的な学習が必要であり、興味が継続するような、幼稚園、小学校、中学校、高校と一貫したカリキュラム、指導法の検討が求められている。

早期英語学習経験者はそうでない学習者と比較すると、英語力、特にリスニング力で優れているというのではないかとする点であるが、短期大学生のTOEICのスコアからは経験者とそうでない学生とのスコア比が経験者のほうがわずかではあるが高いということが明確になった。

現在筆者が担当している短期大学生が英語力をより身につけるためには、初期段階の早期英語学習を有効に行い、小学校、中学校、高校、短期大学へと、次の段階での関心、意欲が継続的に持てるようなカリキュラムを作成する必要があると考える。

参考文献

- 五島 忠久監修 『Q&A形式による児童英語指導法ハンドブック』 アプリコット 1995年 p.39～42
 佐藤 響子 「早期英語教育から何を期待しうるか：横浜市立大学商学部生の意識調査より」
 『横浜市立大学論叢』 50 (1) 1999年 p.113-146
 志田 正 「早期英語教育の重要性」 『長崎ウエスレヤン短期大学紀要』 10 1987年 p.61-75
 JASTECプロジェクトチーム 「早期英語学習が学習者の英語および外国語学習における態度と動機に及ぼす影響」 『日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要』 第13号 1994年 p.35-48
 西尾 由里 「年齢要因および学習経験が音素の発音に及ぼす影響について - 公立小学校を対象として -」
 『日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要』 19号 2000年 p. 1-15
 福本 一 「早期英語教育 - 指標と実践 -」 『同志社女子大学 Asphodel』 4 1971年 p.1-33
 福本 一 「早期英語教育 - その功罪をめぐって -」 『同志社女子大学 Asphodel』 7 1974年 p.60-73
 本田 吉彦 「早期英語教育とその利益」 『文化女子大学紀要』 11 2003年 p.23-31
 恵 達二郎・横川 博一・三浦 一郎 「早期英語学習経験者の中・高における成績」
 『日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要』 15号 1996年 p. 27-35
 横山 東 「早期英語教育の効果に関する一研究」 『九州女子大学紀要』 第27巻 第1号 1991年p.83-95

アンケート（中学・高校用）

以下は、中学・高校用に付け加えた質問

○をつけてください。

中学 1年 2年 3年

高校 1年 2年 3年

特別進学コース

英語コース

一般進学コース

6. 今の学校での英語学習は楽しいですか。

はい いいえ

7. 何が楽しいですか。

10. 現在の英語力・成績はどれくらいですか。

英検：（ ）年に（ ）級を取得

通知簿の成績：

（高校生は英語科目の平均をおおよそで結構ですので記入お願いします。）

11. みなさんの出身小学校、幼稚園はどこでしょうか。差し支えなければ記入してください。